

西都市総合戦略推進委員会での意見

・住んでみたい、そして住み続けたい「西都市の暮らし」魅力発信・移住定住促進事業について

ある委員より、市外から訪れている方の実数が分かるものはないのか？と質問があった。

この質問に対し、現状は無いが、今後中心市街地活性化の計画等を検討している。その中で自動車に対する歩行通行数や携帯電話の位置情報等を入れることを検討中である、と回答があった。

ある委員より、新規創業者数は増えているが、既存創業は少ない。事業承継も進んでいない。市内の名店が閉店してしまう可能性があるが、継承にかかる経費等がネックとなっている。との意見があった。

ある委員より、市内の中心地だけでなく、農林業にも目を向けてほしい。中山間地域の空き家や農業関係の事業承継のマッチングなども検討してほしい。との意見があった。

・地域資源高付加価値化による地域経済活性化事業について

ある委員より、県外から訪れた方に西都原を案内するととても喜ばれた。ご飯も買い物もでき、ロケーションもいい。この資源を生かしてさらに地域を盛り上げていってほしい。との意見があった。

ある委員より、西都原に訪れた後、いかにして街に人をおろすかが長年の課題。効果が出るのに時間を要するため、時間をかけながら良い形にできるようにしていきたい。との意見があった。

・西都市の魅力を創造・発信する観光拠点施設「西都原ガイダンスセンターこのはな館」再整備事業

ある委員より、このはな館が今年の3月にリニューアルオープンして、3月4月はとても人が多かったが今は来館者数が落ち着いてきている。今からが勝負だと感じる。花の季節以外にどう人を呼び込むのか模索しながら前向きに取り組んでいる。との意見があった。

ある委員より、西都原考古博物館との連動はあるのか？1年中企画展をやっており、入館料無料で満足度も高い。このはな館と連動する企画があれば人の動きができると思う。西都原内の資源をうまく連携していくことも重要だと思う。という意見に対し、市内の店舗等に西都原考古博物館の情報を掲示するような取り組みを始めたところである。という回答があった。

当委員会としては、このはな館の改修に伴い、KPIの達成に至らなかった部分もあったが、事業は順調と捉えている。今回各委員から出された意見等を含めて、引き続き鋭意成果が出るような形で進めてもらうということを委員会の意見とする。